

募集します！

市民企画講座



応募期限
5月31日(火)

【内容】

講座の企画を募集します。

- 市民を対象に男女平等・共同参画を啓発・普及するもの
(特定の宗教や政治活動等に関わるもの、営利を目的とするものは除く)
- 1講座約2時間で、1～3回程度
- 1グループにつき1企画

支援内容：企画にかかる経費の一部、講師依頼等
 実施期間：平成29年2月末日まで
 対象：市内在住か通勤、通学する人、また市内で活動する団体、グループ

応援します！

学習支援事業



応募期限
5月31日(火)

【内容】

団体・グループ等が行う男女平等・共同参画への理解を深めるための講義や研修などを支援する。(特定の宗教や政治活動等に関わるもの、営利を目的とするものは除く)

支援内容：講師にかかる経費の一部、講師依頼等
 支援回数：年度中1回
 実施期間：平成29年2月末日まで
 対象：市内で活動する団体・グループ
 (県や市より運営補助を受けている団体、グループは除く)

平成28年度 男女平等推進センター活動登録団体を募集しています

センターに団体登録をされると、センターからの発信情報や他の登録団体との情報のやりとりがスムーズになります。また、無料で交流スペース(会議、学習用の部屋)の利用、ロッカーの使用等ができます。

登録要件

男女平等・共同参画の推進に関する活動を展開している(しようとする)団体、グループで、以下の要件を満たしていること

- 5人以上の構成員を有している
- 団体としての目的を有し、かつ計画に基づき事業を実施している
- 代表者が市内在住か、通勤・通学している
- 営利目的とする団体でない

- 登録は無料です。※審査あり
- 登録期間は1年です。年度途中の登録は当該年度末まで(随時受付～3月末)
※毎年2月に更新手続きがあります。
- 申込み用紙、申請書等はセンターにあります。ホームページからダウンロードもできます。



高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日
毎月第4月曜日・12月29日～翌年の1月3日
〒933-0023
富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)

TEL (0766) 20-1810・FAX (0766) 20-1815

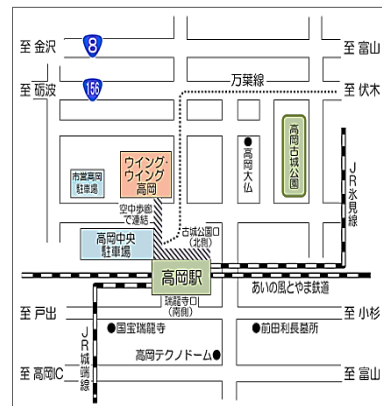
E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
 HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

<相談室>

専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。

相談時間
月・火・水・金・土 9:30～16:30
木 14:00～20:00
※日曜・祝日休み

相談室専用電話
(0766) 20-1811



高岡市男女平等推進センターだより

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
 (ウイング・ウイング高岡6階)
 tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815
 E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
 HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

2016
4月1日発行



「ありて」は、自分の方で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。

ご挨拶

富山大学男女共同参画推進室室長・学長補佐
高岡市男女平等推進市民委員会会長



いちだ ふきこ
市田 路子



高岡市男女平等推進市民委員会会長を、前任の永山先生からバトンタッチいたしました市田と申します。富山大学では、文科省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択にあたり、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者を育成することを目的として事業を展開しておりますので、少しご紹介したいと思います。

この事業は、平成27年～29年までの3年間で、最終的な達成目標は、女性教官の採用、昇任率の向上です。そのために、「意識を変える」、「組織を変える」、「環境を変える」、3つのプロジェクトを展開しています。特に、「意識を変える」取り組みの中では、“生きづらさを考える”“Smart Café”を5回シリーズで開催いたしました。

取り上げました内容は、①性的少数者(富山大学 林夏生氏)、②家族介護者支援(男性介護者の会みやび代表 平尾 隆氏)、③DVの実態から(高岡DV被害者自立支援パサパ代表 向富士子氏)、④うつを人生の好機・転機とする(うつ心理相談センター所長 村田 晃氏)、⑤女性

差別撤廃条約(谷口洋幸氏)です。いずれの回も、学内だけではなく一般の方の参加も多く、現代に潜む問題点を明らかにし、いかに対応すればよいのかを掘り下げることができました。

「環境を変える」では、これまで進めてまいりました、病児・病後児保育、休保育補助やライフイベント中研究サポーター支援の他に、最近増えている介護問題に対応するために、介護コンシェルジュを配置して、突然訪れる介護の現実に対応できる体制を整えているところです。

これらのプロジェクトを推進するためには本学の教員と職員の現状を把握し、今、どこに困難さを感じているか、何が必要とされているかを明確にすることが必須であり、そのため、アンケート調査も行っております。

高岡市においても、新たな取り組みが行われ、ワークライフバランスの支援や、男女共同参画の視点に立った環境・就業体制の整備が進められることを願っております。